

村人会結成総会（祝辞）

厳しい暑が続く毎日、本島各市町村に籍を置く伊平屋出身の有志の皆さん本日の村人会結成総会、誠におめでとうございます。心より感謝と敬意を表す次第です。

大嶺会長始め三役の皆さん、各支部を総括する役員の皆さん、ここまで組織するまでには何回となく集まり、議論、協議をなさり、その結果が本日の総会という形で実を結んだものと確信しております。

本島で郷友会、村人会としての組織が出来たことで伊平屋村としても色んな形で本島と島が情報を共有し伊平屋村を背負い、人材の育成を始め組織力を発揮し、伊平屋島を村内外に発信し、村民がこの島に住んでよかったと言えるような島づくりを進めていきたいと考えているところではあります。

大分県の前平松知事が「一村一品運動」で全国的に名を馳せあつちの町こつちの村で波及し「一品」の掘り起

こしが始まり地産地消、産地直送の自然志向、本物志向が高まり、都会の市場に特産品、名産品として消費者にアピールされ、今日に至っていると思っております。

伊平屋村も島の特産品を使用したお土産等の開発を何とかしたいという思いで平成二十二年度に沖縄県、JA沖縄、コープおきなわ、関東コープネット事業連合（生活協同組合）五団体が元気プロジェクト、チーム黒糖を立ち上げ、県内の企業にお願いを申し上げましたところ、沖縄製粉さんからアガラサーミックス、沖縄ホームメルさんからスライスラフティ、瑞穂酒造さんから伊平屋で生産されたお米で「楽風舞」泡盛二五度ともろみ酢を海産物のきむらやから土佐酢を使った黒糖味付きもずくのたれを販売することが出来ました。一個、又一袋売れば伊平屋村の将来を担うこども達の教育支に当てられることになり、昨年から東京大学の学生さんを呼んで伊平屋でサマースクールの塾を実施しております。

又、伊平屋産モズクを鳥取県海産物のきむらやから関東コープネット（生協）で販売し、伊平屋の環境保全

を守るために美ら島応援基金を毎年何百万という額を交付していただいています。このようなことが出来るのもすべて村人会や伊平屋に関係のある方々の善意からなっていることです。伊平屋村を活性化するにはどうすればよいのか、あるいは当村の存在を全国にアピールするにはどんな方法があるのか、今日お集まりの村人会等の知恵をふるさとに拝借、提供してください。

つまり、産業だけをベースにした「村おこし」も難しい問題が多々あると思います。もっともっと視野を広げて、歴史、文化、民俗にいたるまで伊平屋村をトータル的に見渡し、経済効率だけを追わず、時代の流れをよく読んだ上で、ユニークでインパクトのある

「村おこし」を推進する必要があると考えております。

また、中央に眼を向けるのも大切なことですが、地元、周辺地域にじっくりと眼を据えて、村の活性化を図り、

「村おこし」を村人会と情報を共有しながら進めていきたいと考えておりますので、ふるさとにぜひ、お力を貸してください。

結びになります。伊平屋村人会の役員始め、
お一人お一人のご健康とさらなる飛躍を記念し、
お祝いのあいさつと致します。

平成二十四年七月十五日

伊平屋村長 伊礼 幸雄

ご静聴ありがとうございました。